



図書だより 3月

平成29年2月28日
開南幼稚園 永森 加奈

すごいわ!

日差しが眩しく、春が待ち遠しく思う頃となりましたが、別れの季節が刻々と近づいていると実感します。

先月の図書だよりで報告しました吉田はるくんに続けと、ぞうぐみの子どもたちは幼年童話に挑戦する子が増えてきました。また、水の大切さを知って欲しいと、ぞうぐみで学校ごっこをしながら、猪苗代湖から安積疎水、堀口浄水所を通ってきれいな水になり、やっと飲めるようになるという絵を見せました。そして、水の使い方を工夫して、大切に使うことを伝えました。その翌日、橋本れんくんが、同じ絵を家で描いてきたと、照れながら見せてくれました。見た物を記憶し、帰宅後思い出して忠実に描いてきたことに驚きました。それを見たほかの子も「描きたい!」と、刺激し合っていることを嬉しく思いました。身近なことに興味を持って考えることは、幼児期にとっても必要なことです。子どもが何に興味があるのかアンテナを張って、ご家庭でもちょっとしたきっかけをたくさん作ってください。お子さんの新しい一面が開花するかもしれません。今年度も残りわずかです。進級・進学が楽しみになるような働きかけをしていきたいと思っています。



3月 貸出し

貸出	3/3 (金)	10 (金)
返却	6 (月)	13 (月)

**「入れたかな
バックの中に 借りました本」**
おうちでもお子さんと一緒に
言ってみてください。

おはなししましょ!

15日「ほめ方・しかり方」について、ご家庭でのお子さんとのやり取りに“そう、そんなことある!”と共感しました。ほめ方やしかり方は子育てする中で一番悩むことかもしれません。子ども一人一人をよく見ながら接することが大切です。24日は「ことばあそびの絵本」の絵本と、鈴木あおとくん(ぞう)がクラスで読んだ絵本がきっかけで作った、“なぞかけ絵本”を紹介しました。あおとくんの作品はカラフルな絵と、なるほどと唸るような答えで、大いにことばあそびを楽しんでいる様子がうかがえました。ちょっとした大人の働きかけ次第で子どもの発想はふくらみます。ぜひきっかけ作りをしましょう。

次回 3月1日(水) 10:30~12:15 図書室

今年度最後です。一年間を振り返っておはなししましょ。

ぱれっとさんの おたのしみ会

プログラム

- 「東北うめえものうた」 手遊び
- 「こわーいはなし」 大型絵本
- 「三びきのこぶた」 人形劇

福島の“うめえもん”が登場する楽しい手遊びで始めました。気分がほぐれたところで、小河原さん(うさぎ)・鈴木さん(ぞう)による「こわーいはなし」は、子どもたちの大好きな“おばけの話”。大いに盛り上がりました。最後は「三びきのこぶた(イギリス昔話)」 瀬田真二:訳(福音館)。小河原さん(うさぎ)担当の軽快な音楽と東条さん(ぞう)の穏やかなナレーションで始めると、子どもたちの表情はとても真剣になりました。こぶたの鈴木さん(ぞう)、おおかみの岩佐さん(ぞう)の動きが絶妙で、一人で二役の森山さん(ぞう)の台詞と息がぴったり合って、子どもたちのドキドキが一層大きくなったと思います。舞台背景を担当したのは豊田さん(ぞう)、小泉さん(うさぎ)、渡辺さん(ひつじ)、佐藤さん(りす)。そして、家の材料を提供するおじいさん役はスペシャルゲスト運転手の渡辺さん。子どもたちの心の本棚にまた“楽しい一冊”が増えたことと思います。

ぱれっとさんのおたのしみ会をきっかけに、いろいろな遊びに発展して、子どもたちの意欲向上につながることを楽しみにしています。ぱれっとさん、楽しい公演をありがとうございました。

一緒にやってみませんか?

“ぱれっと”さんでは一緒に活動して下さる方を募集しています。今回の人形劇は以前作ったものを、数日の練習で本番を迎えました。付近の小学校と連携し、ペープサートを借りたりして、無理のない活動をしています。読むことや作ることが苦手でも大丈夫! みんなで集まって和気藹々とお話しながらの活動は楽しいですよ。また、おたのしみ会のお礼は、“幼稚園のおいしい給食”です。ご興味のある方は“小さなおはなし会”へ見学にいらしてください。

次回 3月6日(月) 9:00~9:10 図書室